

日本データマネジメント・コンソーシアム  
(Japan Data Management Consortium)

# 経営におけるデータ活用ガイドの研究 ～デジタルビジネス時代を生き抜くために～



日本データマネジメント・コンソーシアム  
Japan Data Management Consortium [JDMC]

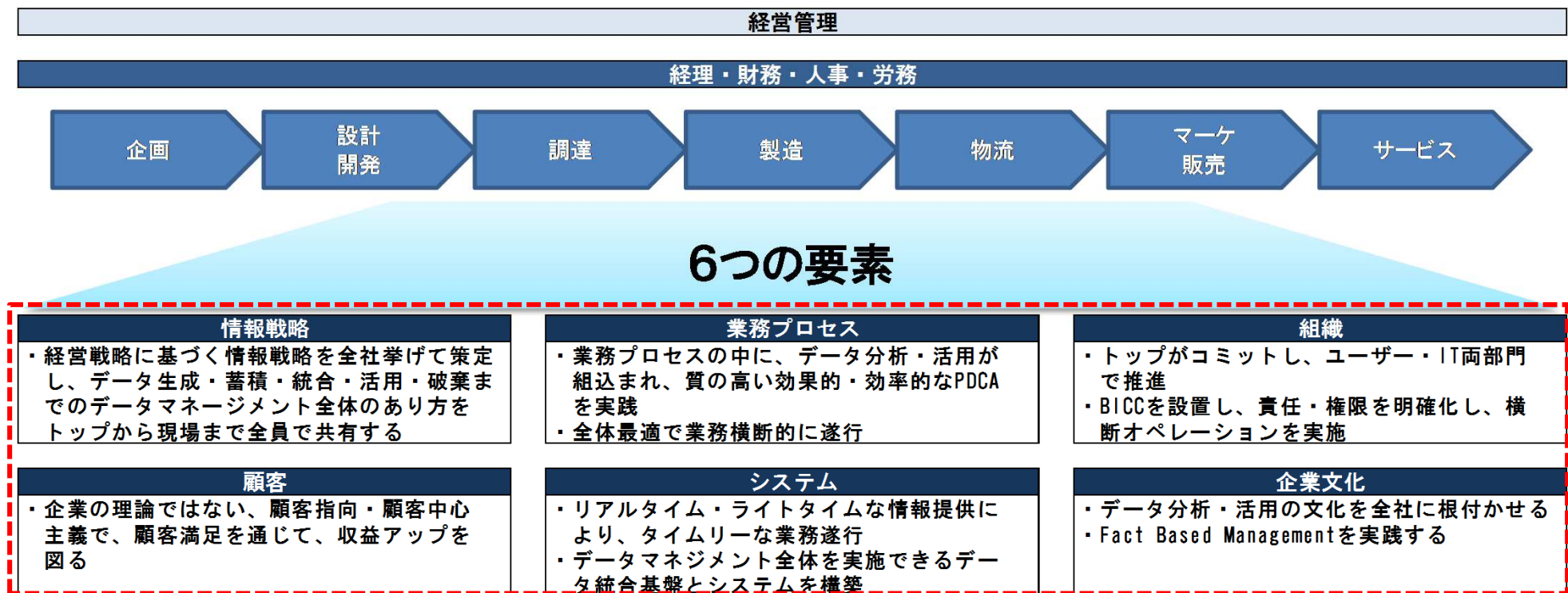
# 1. 本研究テーマ概要

①研究会/名	経営におけるデータ活用ガイドの研究
②研究会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆経営における情報戦略のあり方について深掘する。</li> <li>◆データ経営フレームワークに基づいたデータ活用ガイドの策定を行う。</li> </ul>
③ITキーワード	BI、BSC、BPM、経営ダッシュボード、D/Wアプライアンス
④目的・狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自社のデータ活用レベルを客観的に見える化し、乗り越えるべき課題と目指すべき方向性を明らかにし、実現することの意味およびデータ活用の重要性の理解に繋げる。</li> <li>◆データ経営フレームワークに基づいた情報戦略の検討を通して、データ活用ガイドのあり方を研究する。</li> </ul>
⑤目指すゴール	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各メンバーが、上記対応策を各社に当てはめた時、何が出来るかイメージし、自社に戻り何らかの提案ができること。</li> <li>◆業界別事業機能単位のデータ活用レベル、情報戦略に基づいたアプローチ方法を整理し活用できること。</li> </ul>
⑥メンバー	2017年度 参加企業 14社 17名

## 2. 実施方策 (1) データ経営フレームワーク 1/2

### ■ 「データ経営」の経営戦略フレームワーク

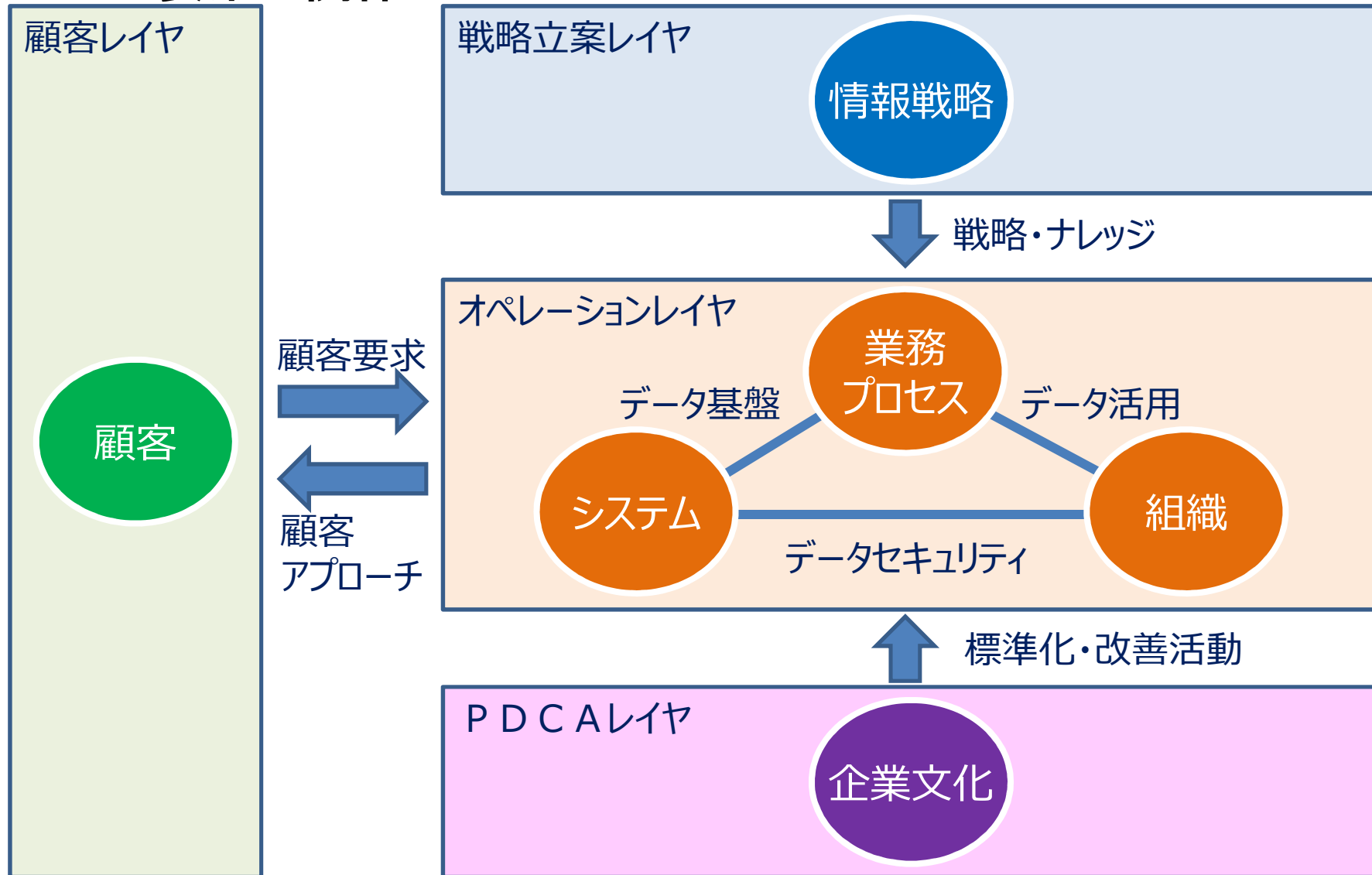
本フレームワークは、6つの要素を定義し、データ活用に向けた内容を整理



※BICC： Business Intelligence Competency Center

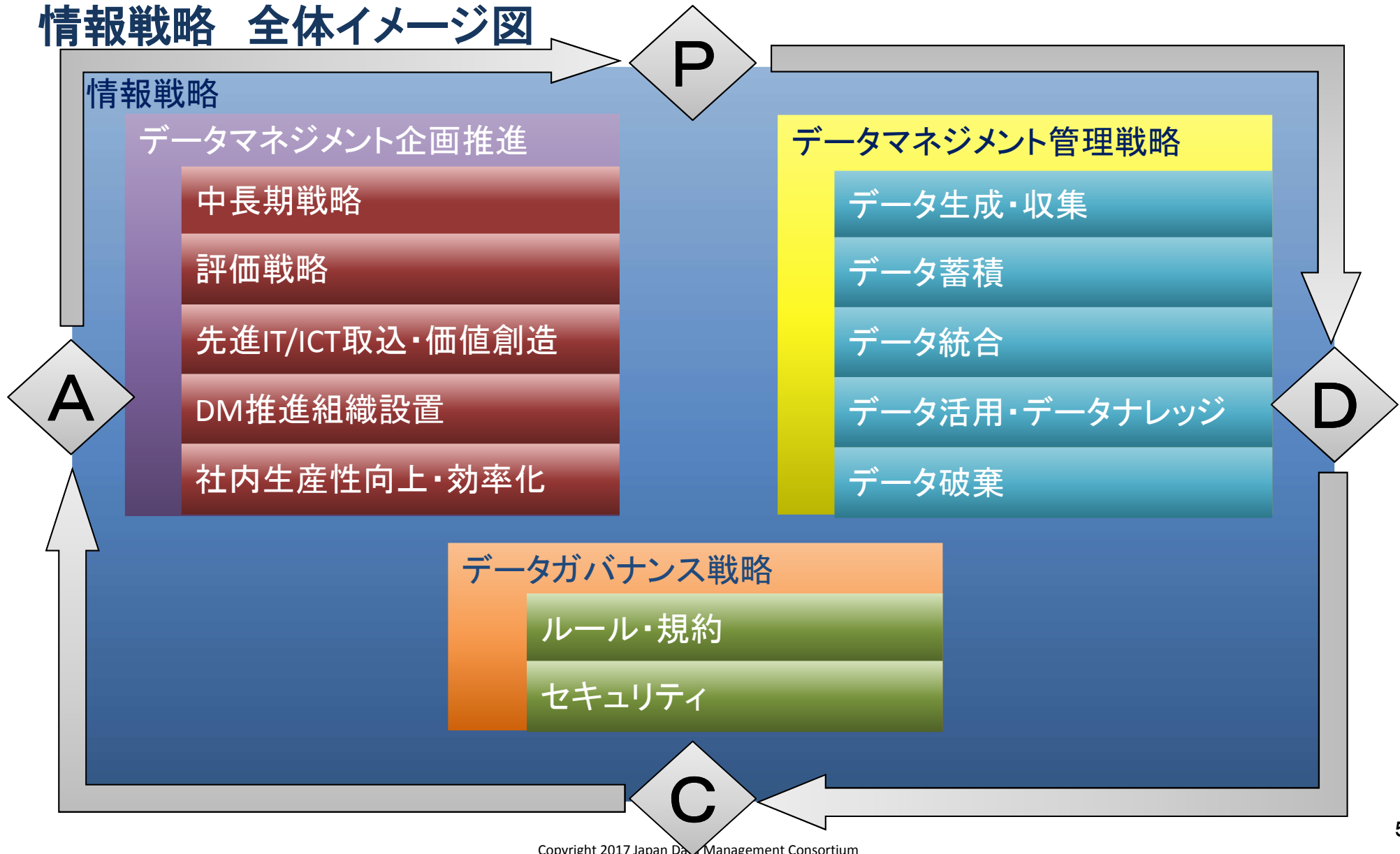
## 2. 実施方策 (1) データ経営フレームワーク 2/2

### ■ 6つの要素の関係



# 3. 活動状況 (1) 情報戦略 1) 全体イメージ

## 情報戦略 全体イメージ図



## 3. 活動状況 (2) データ活用ガイドライン

### データ活用ガイドライン(骨子案)

#### ■ STEP1.Planning

- (1) 経営戦略の策定(データ活用推進による企業価値アップ)
- (2) 業務計画の策定(重要業績評価指標(KPI)設定)
- (3) 情報戦略の策定(元データ、メタデータ整理と評価指標(KPI)を関連付け)
- (4) CDO・データマネジメント推進組織立ち上げ(進め方決定、関係組織と合意)

#### ■ STEP2.Do

- (5) 業務モデル(業務プロセス、組織、データ)見える化
- (6) 経営、中間管理向けダッシュボード、現場向けセルフBIを整備
- (7) データ活用システム基盤の構築と運用遂行

#### ■ STEP3.Check

- (8) 内外要因把握度、変化対応力度測定
- (9) 顧客課題の見える化度測定
- (10) データ精度、鮮度、一貫性、正確性の維持管理度測定

#### ■ STEP4.Action

- (11) 運用、測定データ フィードバック結果に基づく日々改善実施

## 4. 今後に向けての取り組み

◆ 2018年度活動アウトラインは以下の通りです。

### 【仮説】

業種・業態別の業務モデルから事業機能や事業機能間でのデータの流れと課題・活用のあるべき姿を深堀する。

### 【調査】

ユーザー企業へのインタビューを実施し、経営を支えるデータ管理の在り方、業種・業態別業務モデルの妥当性について検証する。

### 【検証】

経営戦略フレームワークの各要素に対し、データの紐付・活用の検証から業種・業態を超えたデータ管理の在り方を明らかにする。

### 【改善】

経営戦略フレームワーク、データ活用難易度、並びに法規や規定、JDMCの各研究会と連携し、「経営のためのデータ活用ガイドライン(初版)」を策定する。